

旭甘藷研究会が見学研修を行いました

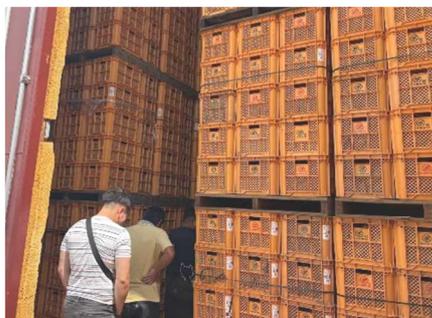
令和7年8月4日（月）に、銚田市の旭甘藷研究会の会員8名が、カンショにおける流通・販売動向や栽培技術を学ぶため、カルビーかいつかスイートポテト株式会社と井関農機株式会社夢ある農業総合研究所にて見学研修および意見交換会を行いました。

まず、カルビーかいつかスイートポテト株式会社では、輸出・調達活動について、国外でもカンショの人気の高いことや、調達時の価格設定や検査方法について説明していただきました。また、カンショ栽培において立枯病など近年問題になっていることや、販売する際の課題等について活発な意見交換が行われました。

次に、井関農機株式会社の夢ある農業総合研究所では、省力化・低コスト化を目指す先端営農技術について伺いました。そこでは、ほ場の地力をロボットが分析し、その結果に基づく適正施肥を自動で行う技術や、アプリと連携して作業時間や作業内容などの指示を出すことができるロボット農機を紹介していただきました。その後、展示しているロボットトラクタ等に試乗し、操作レバーの配置や運転席からの視界を経験できる貴重な体験となりました。

普及センターでは、今後もカンショ経営体の経営力向上について支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



カンショ倉庫の見学の様子



ロボット農機の説明を受けている様子